教育目標 ：「自ら考える生徒　進んで行動する生徒　最後までやりぬく生徒」

臼中だより

https://usuchu.city-niigata.ed.jp/

ブログ更新しています

令和８年９月９日 発行

新潟市立臼井中学校

電話 ０２５（３７３）５４０２
FAX ０２５（３７３）５４６９
E-mail :
j603usuchu@city-niigata.ed.jp

「学び」が世界を広げる

９月１日（火）に，夏休みの成果発表会・報告会を行いました。発表・報告を行ってくれたのは，新潟市英語発表会に参加し，堂々と英語でスピーチを行った２年生，そして，夏休み中に新潟市の事業として広島平和記念式典に参加し，戦争の悲惨さと平和の尊さについて現地で学びを深めた２年生の２名です。 校内発表会では，自分が学んだことや伝えたいことを，自分の言葉で全校生徒に堂々と，力強く発表してくれました。







英語発表会は ”Books and Me” というタイトルでのスピーチ。読書の魅力を英語で発信しました。
広島平和記念式典については，実際の体験を通して深く感じたことを報告しました。

■ 勉強は何のため？

「何のために勉強するのだろう」――２人の発表を終えた後，全校生徒で考える時間を設けました。集会では隣の人と意見を交わしてもらいました。「テストや進学のため」「将来困らないため」など色々な意見が出ました。どれも大切な意見です。集会では，勉強する意味は「自分自身の世界を広げるため」という視点があることを伝えました。

「世界を広げる」とは，決して外国に行くことばかりではありません。知らなかったことに出会い「そうだったのか！」と気付くこと，誰かの気持ちに思いを馳せ，自分の考えや見方を深めていくことです。 読書という体験を通して新しい世界へ飛び出し，英語でスピーチをする大きなチャレンジを果たした生徒。広島で戦争の現実を自分の目で確かめ，「自分ごと」として受け止め直してきた生徒。今回発表を行った２人は，学びや体験を通して，自分の「世界」を大きく広げたのです。





発表の後は，質問・感想タイムです。中には，自分が中学生の時に広島平和記念式典に参加した体験を話してくれた先生も。参加した全員が大変しっかりと話を聞き，充実した時間となりました。

■ 心に「新しいレンズ」を

中学生という今の時期は，部活動やボランティア，友人との議論，新しい本を開くことなど，どんな小さな体験でも世界を広げる宝物になる時です。そして，そのために毎日取り組んでいる「勉強」こそが，実は最強のツールになります。 英語を学ぶからこそ国境を越えて心を通わせることができ，歴史や社会を学ぶからこそ平和の意味を深く考えられます。理科や数学は身の回りの不思議な現象の裏側にある「仕組み」に気付かせてくれます。

勉強とは，みなさんの心に「新しいレンズ」を取り付ける作業です。レンズが増えるほど，いつもの景色がまったく違って見え，世界がもっと面白く，深くなっていきます。



２学期は行事も多く，学びが最も深まる季節です。ぜひ日々の授業や様々な体験を通して，自分の中の「新しい扉」を一つひとつ開けていってください。みなさんがどんな風に自分の世界を広げていくのか，楽しみにしています。

いよいよ体育祭

夏休みが明けてから，生徒たちは熱心に体育祭の準備を進め，応援練習にも一層熱が入っています。フィナーレで披露する予定の「棒踊り」の練習も，地域の皆様のご指導をいただきながら，全校で取り組んできました。 当日は生徒たちへ熱い声援をお送りいただければ幸いです。臼井中学校グラウンドでお待ちしております。

体育祭　【９月１２日（土）】　開会式　９：３５～

天候によっては，競技開始時刻を遅らせたり，競技の順番を入れ替えたりすることがあります。ご了承ください。

当日の生徒の登校は８：３０です。

実施の有無につきましては，当日の朝７時に配信メールにてお知らせいたします。

